

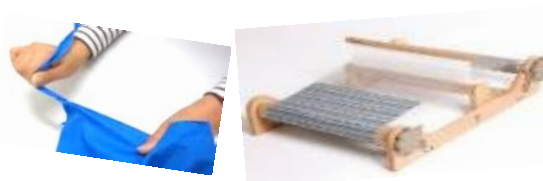


地域連携だより 第5号

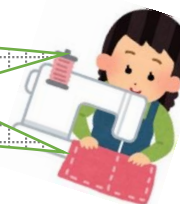


令和3年9月27日
発行：倉敷市立倉敷支援学校支援地域本部 地域連携担当

今年度、倉敷支援学校中学部では、さき織班の作業学習で生徒たちが織ったさき織の布を、愛育委員さんが様々な製品に仕上げ、販売できるようにしてくださっています。さき織布は、厚みがあり加工が難しいのですが、生徒たちが仕上げにくいところをお手伝いしていただき、それが素敵な製品になるので、仕上がった製品を見て生徒たちも嬉しそうです。自分たちが作業学習で一生懸命織った布が、素敵な製品となって届く経験が、日頃の作業学習のやる気にもつながっています。



できあがった製品を紹介します！



メモ帳カバー



三角巾



ネームストラップ



エコバッグ



現在、農耕班で綿花栽培に取り組んでいます。



その綿花を有効利用できないかと、作業学習の参考にさせていただくために「玉島糸織りの会」さんを訪問し、糸の紡ぎ方や、紡いだ糸の活用方法を教えていただきました。



少しずつですが、商品化に向けて動き出しています。

